

農業委員会報

平成23年10月1日発行

農業委員会報 第71号

編集 農業委員会報編集部会

発行 武蔵村山市農業委員会

武蔵村山市本町一丁目1-1

電話 (042) 565-1111

内線 226

第21期農業委員が 決まりました

第20期農業委員の任期満了に伴う第21期農業委員統一選挙が7月10日に実施されました。

立候補者は10名で定数と同数であったことから、無投票で当選が決定しました。

これにより、市議会推薦2名、農業協同組合推薦1名、農業共済組合推薦1名を含め合計14名の新委員が決定しました。

また、統一選挙後、初めての臨時総会が7月21日に開催され、会長に高山充則委員、会長職務代理者に山田和男委員が選出されました。

新委員の皆さん、3年間よろしくお願ひします。



山田和男委員
会長職務代理
農業共済推薦



高山充則委員
農業委員会会長
西部地区選出

会長就任挨拶

農業委員会会長
高山充則

このたび、第21期農業委員皆様様の御推挙をいただき、会長に就任いたしました高山充則でございます。

何分微力ではありますが皆さま方の御指導と御鞭撻を賜りながら、2期6年の経験を生かし、農業者の代表のひとりとして、皆さまのためにより身近な委員会づくりを努めてまいりたいと考えています。

他に類をみない東日本大震災、さらには福島原発事故による放射性物質の飛散の影響で私達の日常生活が脅かされています。その後被災された多くの方々には、心からお見舞いを申し上げ、一日も早い復旧、復興を願うものです。

農業を取り巻く環境は、都市化の進行に伴う農地の減少、農業従事者の高齢化と後継者不足などで大変厳しい状況にあります。都

市農業は、市民、消費者の皆さまに新鮮で安心・安全な農産物を直接提供できる利点があります。また、災害時の防災機能としても活用できる機能をもっています。

こうした都市農地は、相続納税猶予制度や生産緑地指定により守られ、農業者の皆さまの永年の努力で維持されています。市内の優良農地は、引き続き「武蔵村山市第2次農業振興計画」に基づき、維持していく必要があります。

農業委員会の役割である「農地と人」を守り育て、地域農業の振興のため、先頭に立って努力してまいります。農業委員一人一人にも、行動する委員としての活躍が求められています。

最後になりますが、関係諸団体並びに皆様方の御支援、御協力を心からお願ひ申し上げますとともに、皆様方のますますの御発展を御祈念いたしまして、会長就任の挨拶いたします。



浅野竹良委員

東部地区選出



宮崎起志委員

議会推薦



福島昭宏委員

西部地区選出

(議席順)

委員紹介

氏名
委員会役職名
選出区分



加園光良委員

西部地区選出



高橋茂委員

東部地区選出



乙幡覺委員

土地利用部会長
中部地区選出



吉野正博委員

土地利用部副会長
東部地区選出



増尾利一委員

農協推薦



進藤健治委員

農業経営部会長
中部地区選出



木下和年委員

農業経営部副会長
西部地区選出



川島利男委員

議会推薦



乙幡司委員

中部地区選出

※市内を3地区に分け、地区ごとの担当委員として活動いたします。
※会長、職務代理は全地区を担当します。

西部地区	中部地区	東部地区	担当地区
残 後 岸 宿 ヶ 峰 堀 谷 戸	新 馬 横 中 赤 萩 海 の 道 場 田 村 堀 尾	原 原 神 入 谷 山 第 一 山 明 り 津 鍛 冶 ヶ 谷 戸	地 域
木 川 加 福 下 島 園 島 和 利 光 昭 年 委 員 (公選) 委 員 (学識) 委 員 (公選) 委 員 (公選)	宮 進 乙 乙 崎 藤 幡 幡 起 健 司 覺 志 委 員 (学識) 治 委 員 (公選) 委 員 (公選) 委 員 (公選)	増 高 吉 浅 尾 橋 野 野 利 一 委 員 (学識) 委 員 (公選) 委 員 (公選) 委 員 (公選)	担 当 委 員

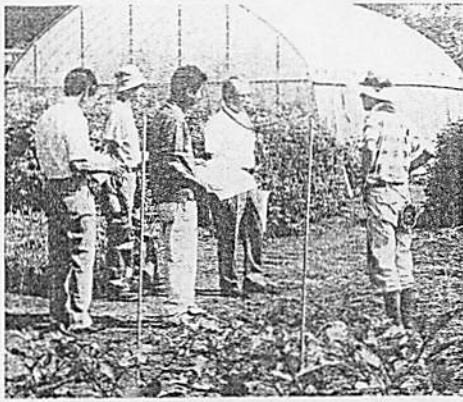
地区(地域)と担当委員

退任農業委員

この度農業委員の任期満了により、7月19日をもって、次の方々が退任されました。多大なる業績に対し深く敬意を表します。長い間、ご苦労様でした。

(敬称略)

- 内野 厚生・加園 良雄
- 内野 元一・比留間啓二
- 峯岸 芳司・森谷 良孝
- 乙幡 清次・野崎 幸利
- 小林 利夫・吉村 重治
- 波多野焯持



農業委員

農業者大会

開催

平成23年3月3日、昭島市民会館において第52回東京都農業委員・農業者大会が開催されました。

大会には農業関係者約九百人が参加し、農業委員会活動を積極的推進するため、農地をいかし、地域を育てゆく活動等の決議がされました。

また、当日は各顕彰の表彰が行われ、下記の方々が栄えある受賞をされました。おめでとうございます。今後とも益々のご活躍を期待いたします。



栄えある 受賞の 皆さん



農業功労者表彰

農業後継者顕彰



農業功労者感謝状
岡本敏夫氏
(野菜部門)



東京都農業会議会長賞
高橋治氏
美佐子さん
(野菜部門)



認定農業者になって 魅力ある農業経営を めざそう

効率的で安定した魅力ある農業経営を目指す農業者に対して支援を行う制度として、認定農業者制度があります。認定農業者になるには、農業経営改善計画の申請が必要です。

申請書の配布、受付は、10月31日(月)まで市役所地域振興課で行っております。

問い合わせは、

市役所地域振興課

(内線226)へ。

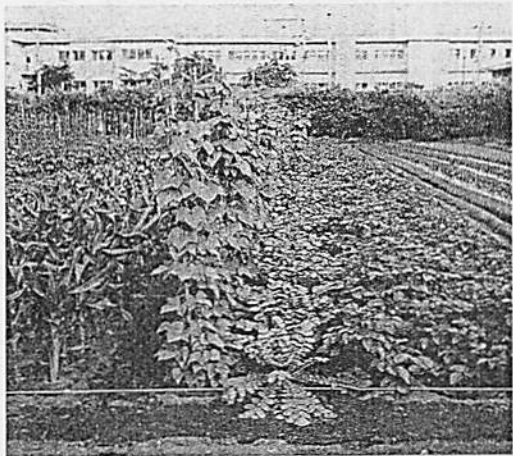
相続時等の際

(農地権利取得者) の届出について

平成21年12月に改正農地法が施行され、相続により農地の権利を取得した場合、農地の大小、調整・市街化を問わず、権利を取得した日から10ヶ月以内に農業委員会に届け出なければならぬこととなります。

詳しくは、農業委員或いは、農業委員会事務局におたずねください。

未届者、虚偽報告者には10万円以下の過料等の罰則規定がありますのでご注意ください。



農業新聞の購読の おしらせ

全国農業新聞は農業委員会組織が発行する農業総合専門誌です。最新の農業事情をはじめ、家族全員がたのしめる記事も充実されており、地域独自のイベントや話題等が満載に紙面をかさっております。

農業者年金の加入を

農業者年金は、国民年金の第一号被保険者である農業者がより豊かな老後生活を過ごすことが出来るよう国民年金(基礎年金)に上乘せした公的な年金制度です。

年金の掛け金は全額社会保険料控除が受けられることから、節税対策にもなります。

農業新聞の購読、農業者年金についての問い合わせは

農業委員会事務局

Tel 565-1111

(内線226)へ。

体験型市民農園の 開設にご協力を

現在、市内には体験型市民農園が2園開設されています。

市民の農業体験の場、また市民交流の場としては不足状況となっております。

農園の開設にご協力いただける方を募集しています。

問い合わせは、

市役所地域振興課

(内線226)へ。

編集後記

会報第71号をお届けいたします。

今回は、新委員の紹介と担当地区を中心に掲載いたしました。

編集委員

高山 充則

山田 和男

乙幡 覺

進藤 健治

吉野 正博

木下 和年

